

アルコールチェック用検知管セット AC-1 取扱説明書

■お確かめください

本セットには下記のものが入っています。これらが全てそろっていることをお確かめください。



品名		数量
①	気体採取器	1 台
②	グリス	1 個
③	インレットゴム(交換用)	3 個
④	収納ケース	1 個
⑤	収納ケース用ベルト	1 本
⑥	チップホルダ	1 個
⑦	呼気採取用ポリ袋	10 枚
⑧	ストロー	10 本
⑨	アルコールチェック用検知管 112AC	1 箱(10 本入)
検知管式気体測定器 取扱説明書		1 冊
AC-1 取扱説明書(本書)		1 部

■安全にお使いいただくために

使用前に、本書、検知管式気体測定器の取扱説明書およびアルコールチェック用検知管 112AC の取扱説明書をお読みください。

⚠警告	本検知管の測定結果は飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であり、運転の可否を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行ってよいか否かの判断に対して、製造および販売に携わる関係者は一切の責任を負いません。
⚠注意	● 検知管の両端を折り取るとき、目から遠ざけてください。 ● 両端を折った後の検知管の切り口、かけらにご注意ください。
△注記	● 測定環境の温度(検知管)は 10～40℃の範囲で使用してください。(15℃以下の場合、40℃の場合は補正が必要です。112AC の取扱説明書をご確認ください。)相対湿度は 20～90%の範囲で影響ありません。 ● 共存ガスの影響を受ける場合があります。112AC 取扱説明書の干渉ガスの項を参照してください。 ● 検知管は、指定された保存条件で保存されていた有効期限内のものをお使いください。検知管の保管条件および有効期限は箱に表示されています。 ● 飲食後は 5 分以上時間を空けてから呼気を採取してください。 ● 測定後、検知剤が黄色く変色している場合がありますが、アルコールによる変色ではありません。

■用意するもの

測定には次のものをご用意ください。

気体採取器	1 本
チップホルダ	1 個
呼気採取用ポリ袋	1 枚
ストロー	1 本
アルコールチェック用検知管 112AC	1 本

* 呼気採取用ポリ袋・ストロー・検知管は測定 1 回ごとに新しいものをご使用ください。

呼気採取用ポリ袋(10 枚)とストロー(10 本)のセットを販売しております。(型式:AC1-70)



■操作方法

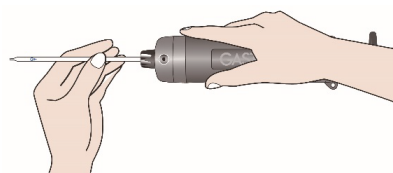
●気体採取器の点検(気密試験)

気体採取器に漏れがある場合は正しく測定を行うことが出来ません。測定前に下記の方法で気体採取器の気密試験を行ってください。

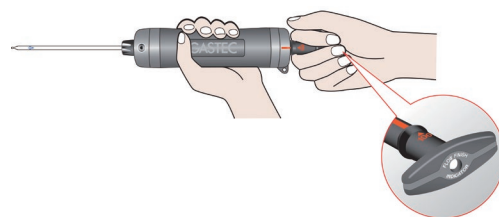
- ① 気体採取器の入り口ナットが緩んでいないことを確認します。



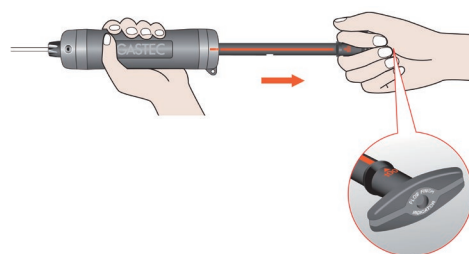
- ② 両端を折り取っていない検知管を検知管取り付け口のインレットゴムにさし込みます。



- ③ ハンドルが押し込まれた状態で、テールブロックのガイドライン(赤色)とハンドルのガイドマーク(▲100)を合わせます。
この時に、フィニッシュインジケーター部分が白色であることを確認してください。



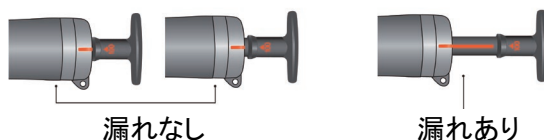
- ④ ハンドルのガイドライン(赤色)に沿ってハンドルを一気に最後まで引きます。固定されますのでハンドルから手を放し、約1分待ちます。
この時に、フィニッシュインジケーター部分が白色でないことを確認してください。



- ⑤ ハンドルに指をかけながら90度回します。ハンドルが戻ります。
この時、ハンドルのガイドラインが見えなければ気密性は良好です。



注)ハンドルを戻す時は、指をかけたまま一定の力で支えつつ徐々に戻してください。指を放すとシリンダ内が真空状態のため、ハンドルが急激に戻り大きな衝撃音を出します。また衝撃は気体採取器の故障の原因となります。



気体採取器に漏れがある場合

気密試験でハンドルを戻した時、ハンドルのガイドラインが見える場合は漏れがありますので、検知管式気体測定器の取扱説明書の「8 保守方法」にしたがって点検とグリスアップを行ってください。漏れが直らない場合は修理が必要です。お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

●測定方法

- ① 呼気採取用ポリ袋にストローを入れ、袋が十分膨れるまで呼気を吹き入れます。

- ② 呼気を十分吹き入れた呼気採取用ポリ袋から、ストローを外します。この時、呼気採取用ポリ袋から呼気が抜けないように注意します。

*** 呼気を採取してから 5 分以内に測定を開始してください。**

- ③ チップホルダまたは気体採取器のチップブレーカでアルコールチェック用検知管の両端を折り取ります。

- ④ 検知管の矢印「→」と G▶マークを気体採取器に向けて、インレットゴムに差し込みます。

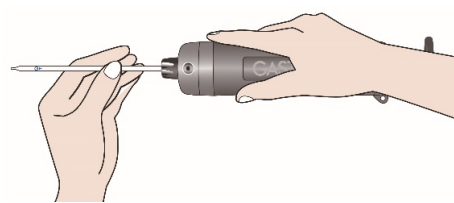
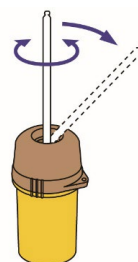
- ⑤ 気体採取器のハンドルを完全に押し込み、テールブロックのガイドライン（赤色）とハンドルのガイドマーク（▲100）を合わせます。

- ⑥ 検知管を呼気採取用ポリ袋に入れ、ハンドルのガイドライン（赤色）に沿ってハンドルを一気に最後まで引きます。最後まで引くとハンドルは固定されますので、ハンドルから手を放し、そのまま約 90 秒待ちます。

*** 検知管を呼気採取用ポリ袋に入れたまま 90 秒待ちます。**

- ⑦ 約 90 秒後、ハンドルのフィニッシュインジケーターが白色になっていれば、吸引は終了です。

吸引終了の確認後、ハンドルを 90 度回転させると固定が解除されます。ハンドルが戻らないことを確認し、押し込みます。



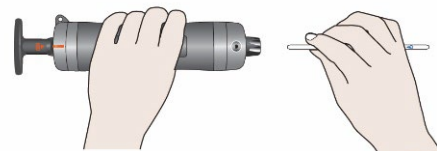
吸引中



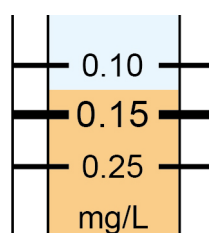
吸引終了



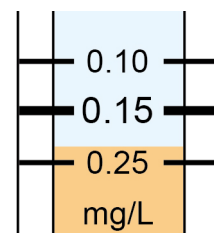
- ⑧ 吸引終了後、検知管を呼気採取用ポリ袋から取り出し、検知管を気体採取器から取り外します。



- ⑨ 検知管の目盛(橙色と淡青色の境界)を読み取り、値を記録するか、一定時間空くのであればボールペンなどで境界に線を引いておいてください。

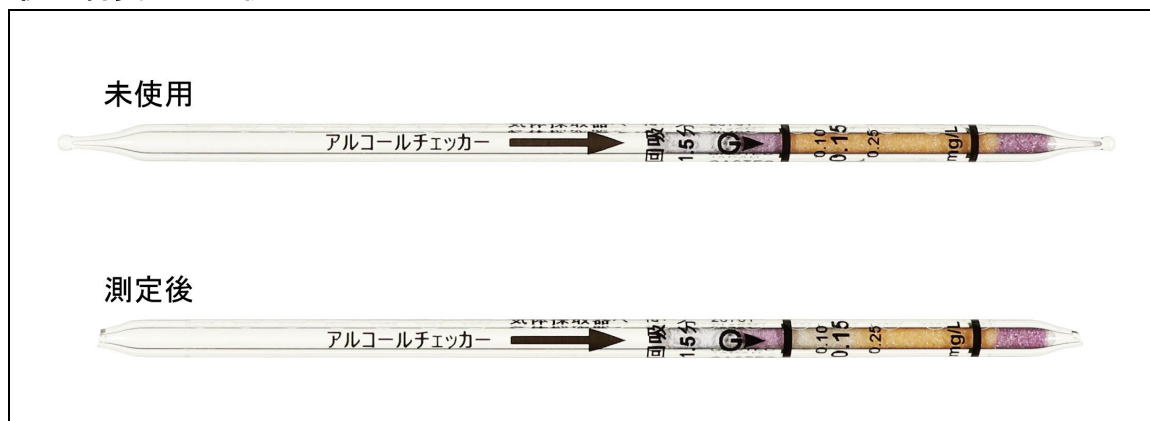


例 1)法令の基準値
0.15を下回った場合



例 2)法令の基準値
0.15を超えた場合

検知管変色の一例



■廃棄方法

アルコールチェック用検知管には、有害物質である六価クロムを 1 本当たり 0.049mg 含んでいます。一般廃棄物、もしくは産業廃棄物の“ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず”として適切な処理を産業廃棄物処理業者へ依頼してください。使用した呼気採取用ポリ袋、ストローは燃えるごみまたはプラスチックごみで廃棄してください。

■保証とアフタサービス

- 万一、品質に不都合な点がありましたら、弊社にお問い合わせください。
- ガス測定、品質に関する質問をお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先:株式会社 ガステック 営業本部
〒252-1195 神奈川県 綾瀬市 深谷中八丁目 8 番 6 号

TEL:0467(79)3911 FAX:0467(79)3979

ホームページアドレス:<https://www.gastec.co.jp/>